

経営比較分析表（令和5年度決算）

和歌山県 日高川町

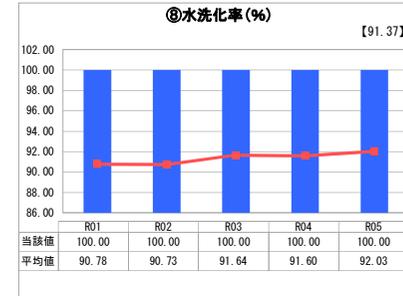
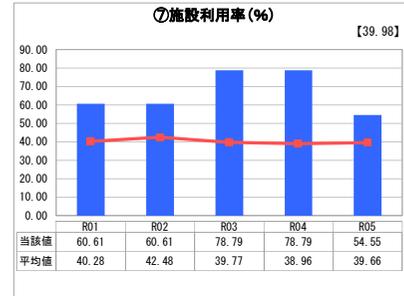
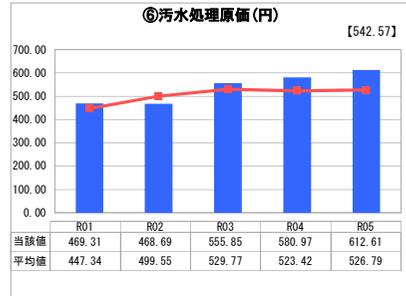
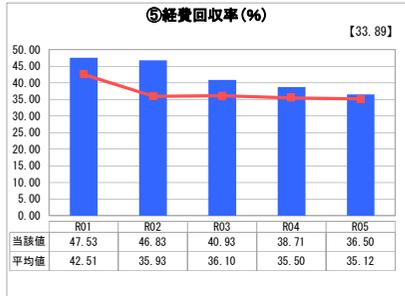
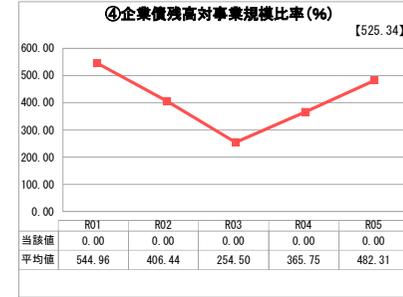
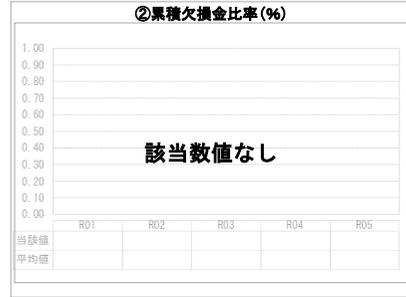
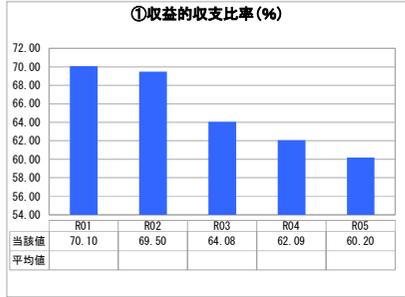
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	林業集落排水	G2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	1.21	100.00	4,000

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,202	331.59	27.75
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
110	0.07	1,571.43

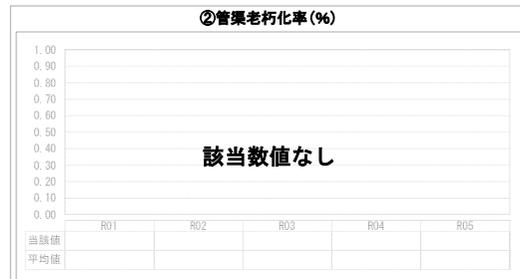
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

下水道事業（林業集落排水）については、令和5年度にも修繕費用の投資があった為に①収益的収支比率が更に下がっている。④企業債残高対事業規模比率は地方債現在高合計を一般会計で負担している。⑤経費回収率は、修繕費の増減により左右される。⑥汚水処理原価は数値が上昇している。⑦施設利用率は人口の減少により減となった。⑧水洗化率は100%である。全体として、全ての指標において全国平均及び類似団体平均値と比較して良好な数値にある。しかし、収益的収支比率等の数値が顕著に悪くなるのが比較分析表で分かる。

2. 老朽化の状況について

処理施設、管渠についても20年を経過し、機器の老朽による修繕費が高みつた。今後老朽調査も視野に入れて行かなければならない。

全体総括

今後、人口の増加は難しいが、処理施設及び管渠は供用開始後20年を経過し、今後老朽調査及び改修、整備も視野に入れて行かなければならない。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均値を表示していません。